



第36回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

女子		令和8年2月15日	13:10 開始
決勝		グリーンアリーナ神戸	M

京都精華学園	85	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>26</td></tr> <tr><td>15</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>20</td><td>3rd</td><td>26</td></tr> <tr><td>28</td><td>4th</td><td>27</td></tr> </table>	22	1st	26	15	2nd	20	20	3rd	26	28	4th	27	◎	99	大阪薫英女学院
22	1st	26															
15	2nd	20															
20	3rd	26															
28	4th	27															

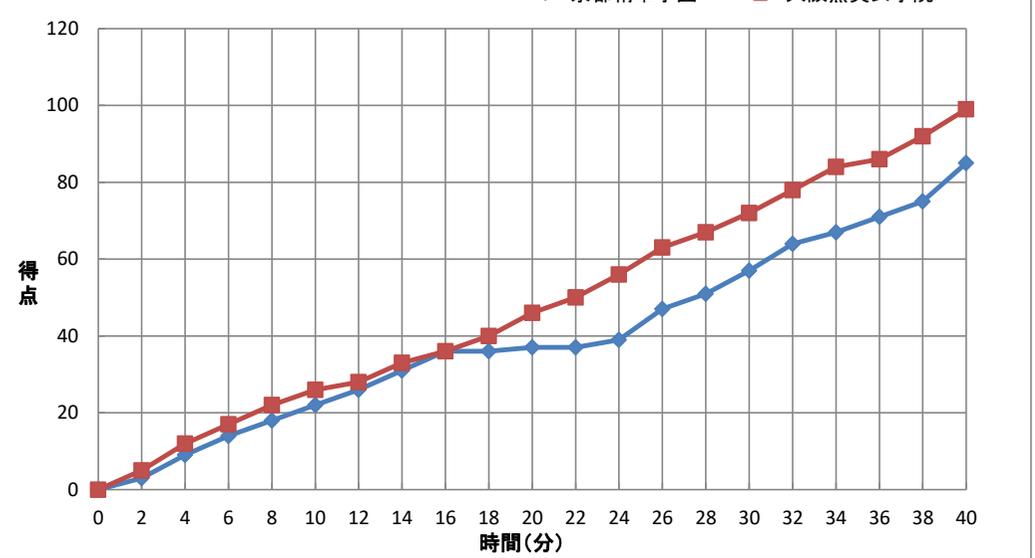
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	吉田 ひかり	8	2	0	2	2	* 4	松本 璃音	24	6	2	2	2
* 5	満生 小珀	0	0	0	0	0	* 5	原 乙羽	16	0	5	6	3
* 6	ンガルラ ムクナ リヤ	20	0	9	2	1	* 6	細澤 幸生	25	2	8	3	4
7	高山 留里那	3	0	0	3	1	* 7	大槻 佳子	18	4	2	2	2
* 8	谷 彩南	2	0	1	0	1	* 8	今井 優蕾	9	0	4	1	4
9	石井 日菜	0	0	0	0	0	9	杉山 もも	2	0	1	0	0
10	速水 純里	0	0	0	0	0	10	守能 董子	-	-	-	-	-
11	堀 心優	0	0	0	0	0	11	吉田 沙希	5	1	1	0	1
12	松居 ことほ	0	0	0	0	0	12	梅田 和香奈	-	-	-	-	-
13	長瀬 萌々奈	0	0	0	0	1	13	清水 莉子	-	-	-	-	-
14	田中 鈴音	0	0	0	0	2	14	黒田 愛里咲	-	-	-	-	-
15	田中 里旺	8	2	1	0	1	15	市村 心春	-	-	-	-	-
16	大木 一樺	7	0	3	1	3	16	君島 藍	-	-	-	-	-
* 17	石綿 文	7	0	3	1	4	17	桐原 美穂	-	-	-	-	-
18	オディア カウエル リツ	30	0	14	2	4	18	桑名 瑠愛	-	-	-	-	-
コーチ	山本 綱義						コーチ	長渡 由子					
Aコーチ	豊田 薫						Aコーチ	川嶋 裕彰					
合計		85	4	31	11	20	合計		99	13	23	14	16

クルーチーフ: 嶋田 博昭

1stアンパイア: 笹川 尚宏

2stアンパイア: 大溝 貴広

得点経過



TO	1・2Q	3・4Q	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕

【第1Q】
立ち上がり両チーム点の入れ合いになる。京都精華は#17石綿のゴール下や#6ンガルラのゴール下やレイアップ、大阪薫英は#7大槻の3Pシュート、#6細澤のドライブ、#4松本の3Pシュートで、開始3分10-9と大阪薫英が僅かにリードを奪う。ここから大阪薫英は#6細澤がスピードのミスマッチをつき3連続ゴールで点差を広げ、さらに#4松本もこのクウォーター3本の3Pシュートを決めきり、26-22と大阪薫英リードで終了。

【第2Q】
京都精華はこの試合好調の大阪薫英#4松本を開始からフェイスガードで対応し、流れを変える。京都精華はインサイドにボールを徹底して集め、#6ンガルラのバスケットカウント、#18オディアのゴール下、さらに意識がインサイドに寄ったところで#4吉田の3Pシュートが決まり、ついに30-31と逆転に成功する。対する大阪薫英は#11吉田、#7大槻の連続3Pシュートで再び逆転し勢いに乗ると、京都精華のインサイドの一角#17石綿の3回目のファウルがあり、一気に流れを引き寄せる。#9杉山のフローター、#5原の連続得点や#8今井のバスケットカウントで46-37大阪薫英リードで終了。

【第3Q】
前半の勢いそのままに大阪薫英は#5原のドライブや#4松本のセットプレーからの3Pシュート、さらにDFではボール運びで8秒バイオレーションを誘発するなど、53-37と16点差をつける。何とか流れを止めたい京都精華は選手交代を繰り返しながら、インサイド#18オディアにボールを集め、このクォーター13得点で活路を見出そうとするも大阪薫英は#5原の1on1を中心に足が止まらず、72-55で終了。

【第4Q】
後がない京都精華はスタートメンバーに戻し勝負に出るも、大阪薫英は#7大槻の3Pシュートや#4松本のドライブがアンスポーツマンライクファウルを誘発するなど、確実に得点を積み上げ安定した戦いを継続。終盤には#7大槻、#6細澤、#4松本の3連続3Pシュートが決まるなど終始バスワーク良くオフェンスを展開し勝ち切った。京都精華は#6ンガルラ20得点、#18オディア30得点と二人で50得点するなど徹底してインサイドにボールを集め勝機を伺ったが、大阪薫英がオフェンス、ディフェンスともに足を使ったチームプレーで高さに対抗し、見ごたえのある決勝戦であった。

戦評: 西岡真仁

記録: 県立明石高等学校